



高齢者福祉の取り組みが一定の成果を生み、充実の段階に入ったと評価できる状況になった2001年、かねてから課題となっていた子どもの福祉について本格的に取り組み始めました。ふくじ情報でんわへの問い合わせなどで子育てが家庭に委ねられている社会状況の中で母親が大きな負担を背負っている様子が浮かび上がっていました。子育て応援の取り組みを開始するにあたって全組員を対象に実施したアンケート結果からも、「子育てに自信がなくなることがある」「イライラする」などの現状が見えました。アンケートを

高齢者福祉へと地域に開かれた事業として発展

もとに、子育てのサポート、母親の息抜きや仲間づくりの取り組みがスタートしました。

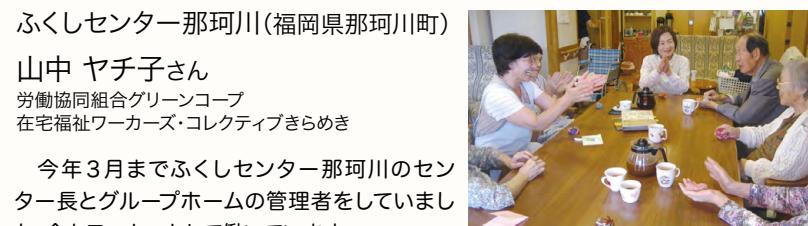
2003年、社会福祉法人「自分たちが住みたい地域を自分でつくるう」という組合員の思いは、社会福祉法人となつことで、さらに確実に形になっていきました。事業の担い手は、組合員である福祉ワーカー。生活者の視点を大切に、思いと熱意を込めて、サービスを必要とする人に「やさしい目線とやわらかい手」を届けています。

2009年には、社会福祉法人として子育てサポート事務もスタート。赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが安心して暮らすことができる社会をめざすグリーンコープの地域福祉は、利用者から支持と行政などからの信頼を得て大きく成長するとともに、地域に浸透し広く認知されています。

業もスタート。2013年には障がい福祉サービスが始まりました。

## コミュニケーションを大切にご利用者に寄り添って

### 自分の地域で安心して老いること



今年3月までふくしへンターノ河川(福岡県那珂川町)センター長とグループホームの管理者をしていました。今もワーカーとして働いています。

ワーカーになったのは20年前、2級ホームヘルパー養成講座を15人のメンバーと受講して、ワーカーズ「くるみ南・那珂川」を立ち上げたのが始まりでした。

ある利用者の方を24時間365日、5~6年間お世話させていただく中で、その方を最期まで看るようになります。そのためには施設が必要です。自分の住んでいる地域にも施設をつくりたいと思っていたところ、100円基金から助成を受け、10年前にふくしへンターノ河川ができました。

利用者の方を最期まで看るようになり、高齢者福祉に携わるワーカーとして幸せだと思います。自分の地域で自分がしてほしいサービスを受けることができると思うと自分も安心して暮らせます。

利用者の方と接する上で一番大切にしていることは「待つ」ことです。利用者の方の気持ちを大切に、自分でできることは自分でやれるよう寄り添って「待つ」を大切にしています。

### 若いお母さんお父さんの子育てを応援



5年前に、9つの子育てサポートワーカーズが一つになって、「りすの木」を立ち上げました。

現在、組合員活動時の託児に加え、地域では、ベビーシッター・キッズシッター・マザーリング(産後3ヶ月までのサポート)が柱になっています。お子さんの支援だけでなく、産後のお母さんへの支援も増えてきました。

\*親子ひろばも運営し、お母さんたちの話を聞く機会が多いのですが、子育てが一段落したら働くのは当たり前という会話が多いですね。今は働くお母さんの支援が増えてきました。若いお母さんたちはえらいなと思います。いろいろ調べてより良い方法でお子さんと向かいあっていらっしゃると思います。

最近では子育てに協力的なお父さんが多くなっている様子で、問い合わせの電話や契約説明時にお父さんが対応される方が増えています。説明時には、家事代行サービスとは違い、産後のお母さんの自立支援、お子さんを大切に見守るということが目的だということをお伝えしています。ご利用者とのコミュニケーションを大切にして、お母さんの気持ちに寄り添ったサービスを提供できるよう努めています。

※お母さんたちの息抜きの場、親子のふれあい、子どもたちが遊びのびのび遊べる場として各地で開催されている

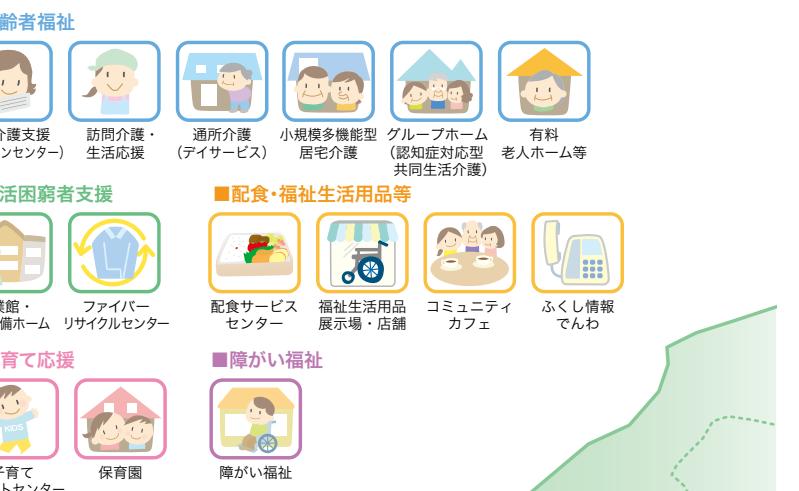
## グリーンコープ30周年記念特別企画 30th Anniversary ありがとう これからも

### 各県に広がる社会福祉法人グリーンコープの事業

#### グリーンコープエリア全体の事業所数 (2018年6月現在)

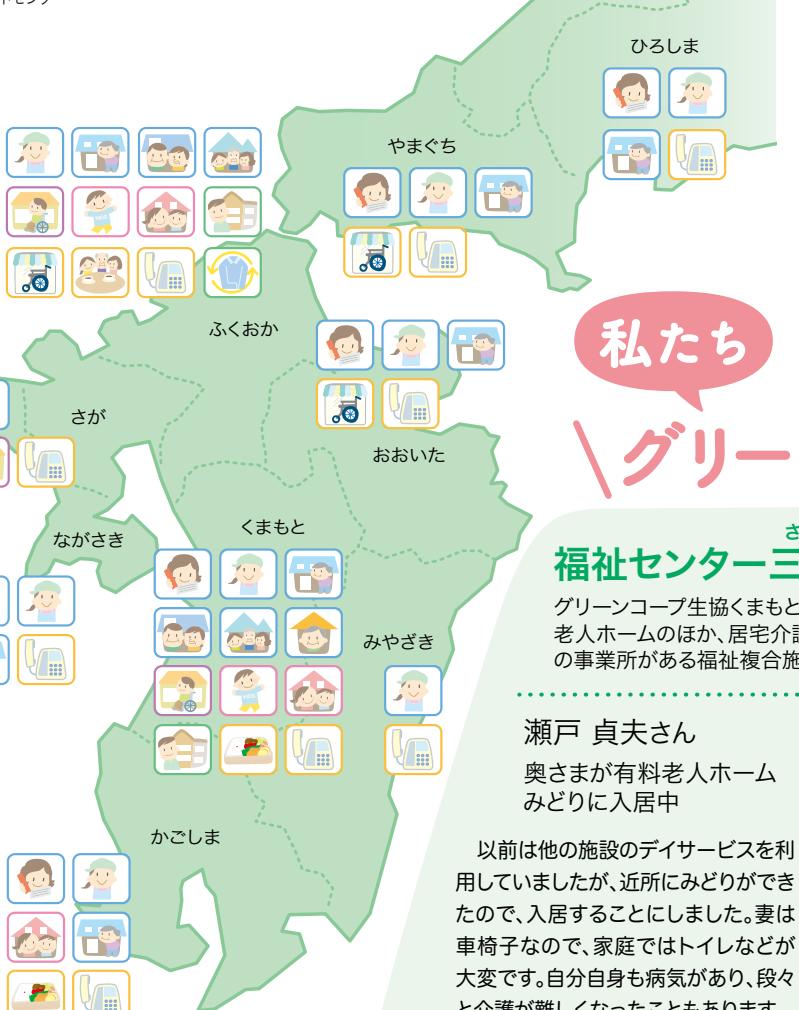
- 訪問介護(54事業所) ●通所介護(28事業所)
- グループホーム・小規模多機能・有料老人ホーム(11事業所)
- ケアプランセンター(22事業所) ●子育てサポートセンター(11事業所)
- 配食サービス(4事業所) ●抱樸館福岡 ●抱樸館熊本準備室
- ファイバーリサイクルセンター ●自立準備ホーム(熊本) ●保育園(8事業所)
- 障がい福祉サービス(5事業所) ●福祉生活用品店舗(8事業所)
- サービス付き高齢者向け住宅(1事業所)

定の成果を生み、充実の段階に入ったと評価できる状況になった2001年、かねてから課題となっていた子どもの福祉について本格的に取り組み始めました。ふくじ情報でんわへの問い合わせなどで子育てが家庭に委ねられている社会状況の中で、母親が大きな負担を負っている様子が浮かび上がり、子育て応援の取り組みを開始するにあたって、全組員を対象に実施したアンケート結果からも、「子育てに自信がなくなることがある」「イライラする」などの現状が見えました。アンケートを見えてきました。



2009年には、社会福祉法人として子育てサポート事業を開始するにあたって、全組員を対象に実施したアンケート結果からも、「子育てに自信がなくなることがある」「イライラする」などの現状が見えました。アンケートを見えてきました。

2009年には、社会福祉法人として子育てサポート事業を開始するにあたって、全組員を対象に実施したアンケート結果からも、「子育てに自信がなくなることがある」「イライラする」などの現状が見えました。アンケートを見えてきました。



### 私たち

#### グリーンコープのサービスを利用しています

##### 福祉センター三里木(熊本県菊陽町)

グリーンコープ生協くまとエリアで初めての住宅型有料老人ホームのほか、居宅介護支援、通所介護、訪問介護等の事業所がある福祉複合施設。2018年5月開所。

瀬戸 貞夫さん  
奥さまが有料老人ホーム  
みどりに入居中  
以前は他の施設のデイサービスを利用していましたが、近所にみどりができるので、入居することになりました。妻は車椅子なので、家庭ではトイレしなどが大変です。自身も病気があり、段々と介護が難しくなったこともあります。ここは施設が立派だし、食事も安心・安全。スタッフもみんな親切で、家族のように愛情を持って接してくれます。安心して任せることができます。感謝しかありません。点数をつけるなら100点満点です。



##### ふくしへンターノひらき(福岡県北九州市)

グリーンコープで初めてのサービス付き高齢者向け住宅をはじめ、居宅介護支援、小規模多機能ホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問介護等の事業所がある福祉複合施設。小規模保育A型の保育所も併設。2018年4月開所。

小田 健二さん  
サービス付き高齢者向け住宅に入居中  
以前はグリーンコープ生協ふくおかの福祉事業本部の責任者でした。1年前程、「おひらきの建設に活かしたいので、施設を利用する立場からの意見を聞かせてほしい」と相談を受けたことがきっかけで入居しました。おひらきは利用料金も良心的で、快適に過ごしています。施設を利用する人の中には、人とつながったり、社会とのかかりわめを持ちたいと考える人もいると思います。これからの夢として、高齢の人や障がいのある人も残された身体機能を活かしながら、できることで社会参加できるようになればいいなと思います。

##### 認可保育所「松島りすの森保育園」(福岡市)

グリーンコープで最初に開園した認可保育所。給食やおやつには安心・安全な食材を使い、食べものへの興味・関心を育てるなど、食育に力を入れている。

保護者会前会長 肥後 直季さん 昨年度まで長男が通園  
グリーンコープの安心・安全な食材を使って、管理栄養士が独自のメニューで給食を作ってくれると聞き、安心して子どもを預けられると思い、松島りすの森保育園に1歳児から入れました。

家では食の細い子なのに、園の先生から「野菜もみそ汁もたくさん食べますよ」と聞き驚きました。ちゃんと汁を取って作る園のみそ汁はお代わりしていました。おやつや延長保育には産直びん牛乳といりこが出るおかげで、3月生まれですが、周りの子に負けないくらい大きな身体に育ちました。夏祭りなどのイベントに保護者から意見を届けると、翌年には改善されていました。そうやって毎年良くなっています。我が子の成長を見ながら園の成長も見られて面白かったです。

配食サービス「パセリ」(熊本県八代市)  
グリーンコープの安心・安全な食材を使った弁当をご利用者の自宅まで配達。安否確認も行う。

坂田 尚子さん  
毎日昼夜の2回、おかず弁当を利用  
母の介護に心身ともに消耗し、食事だけでも手間を省けたらと思っていました。パセリのチラシを見て試しに利用しました。母が美味しいと気に入り、それからずっと利用しています。品数が豊富で素材を大事にした家庭的な味付けなので、毎日食べて飽きません。また、食事の手助けをすることで、介護をしている人に少しでも元気になってほしいという思いを料理に感じます。それをずっと大切にしてほしいと思っています。